

The background features three large, semi-transparent circles: a light blue circle on the left, a bright yellow circle at the top right, and a pink circle at the bottom right. Each circle has a subtle gradient and a soft shadow beneath it.

I . 平成22年度決算の概要

損益の状況

- 資金利益の増加により、コア業務粗利益・コア業務純益は増益（**コア業務粗利益は過去最高を更新**）
- 信用コストの減少により、経常利益・当期純利益ともに増益

平成22年度決算(単体)

(単位: 百万円)

	平成21年度	平成22年度	前年度比	増減率
コア業務粗利益(注1)	80,634	83,361	+ 2,727	+ 3.4%
資金利益	74,755	77,322	+ 2,567	
役務取引等利益	4,799	4,584	- 215	
うち預り資産収益	1,654	1,951	+ 297	
その他業務利益(除: 国債等債券関係損益)	1,079	1,455	+ 376	
経費(△)	47,602	47,629	+ 27	+ 0.1%
人件費	25,918	26,234	+ 316	
物件費	19,308	19,318	+ 10	
税金	2,375	2,077	- 298	
コア業務純益(注2)	33,032	35,732	+ 2,700	+ 8.2%
信用コスト(△)	13,709	9,748	- 3,961	
一般貸倒引当金繰入額	1,427	- 2,426	- 3,853	
不良債権処理額	12,281	12,174	- 107	
有価証券関係損益	656	- 824	- 1,480	
国債等債券関係損益	- 530	- 1,038	- 508	
株式等関係損益	1,186	214	- 972	
その他の臨時損益	- 1,151	- 956	+ 195	
経常利益	18,827	24,203	+ 5,376	+ 28.6%
特別損益	2,014	- 432	- 2,446	
税引前当期純利益	20,842	23,771	+ 2,929	
当期純利益	13,044	14,753	+ 1,709	+ 13.1%
経常収益	101,546	101,371	- 175	- 0.2%
業務純益	31,074	37,119	+ 6,045	+ 19.5%

主な増減要因等 (前年度比)

コア業務粗利益・・・前年度比+2,727百万円

- 貸出金及び有価証券の運用増強による資金利益の増加
- 外為売買益等の増加によるその他業務利益の増加

経費・・・前年度比+27百万円 (ほぼ横這い)

コア業務粗利益の増加に伴いコア業務純益増加
前年度比+2,700百万円

信用コスト・・・前年度比△3,961百万円

- 一般貸倒引当金繰入額 (前年度比△3,853百万円)
- 要注意先の残高の減少及び引当率の低下により繰入減少
- 不良債権処理額 (前年度比△107百万円)

有価証券関係損益・・・前年度比△1,480百万円

- 国債等債券関係損益 (前年度比△508百万円)
- 株式等関係損益 (前年度比△972百万円)
- 債券及び株式償却額の増加等により、有価証券関係損益が減少

コア業務純益の増加および信用コストの減少により
経常利益は増益
前年度比+5,376百万円

特別損益・・・前年度比△2,446百万円

- 主に固定資産減損の増加及び償却債権取立益の減少

当期純利益は増益
前年度比+1,709百万円

(注1) コア業務粗利益・・・国債等債券関係損益を除く「業務粗利益」

(注2) コア業務純益・・・コア業務粗利益 - 経費

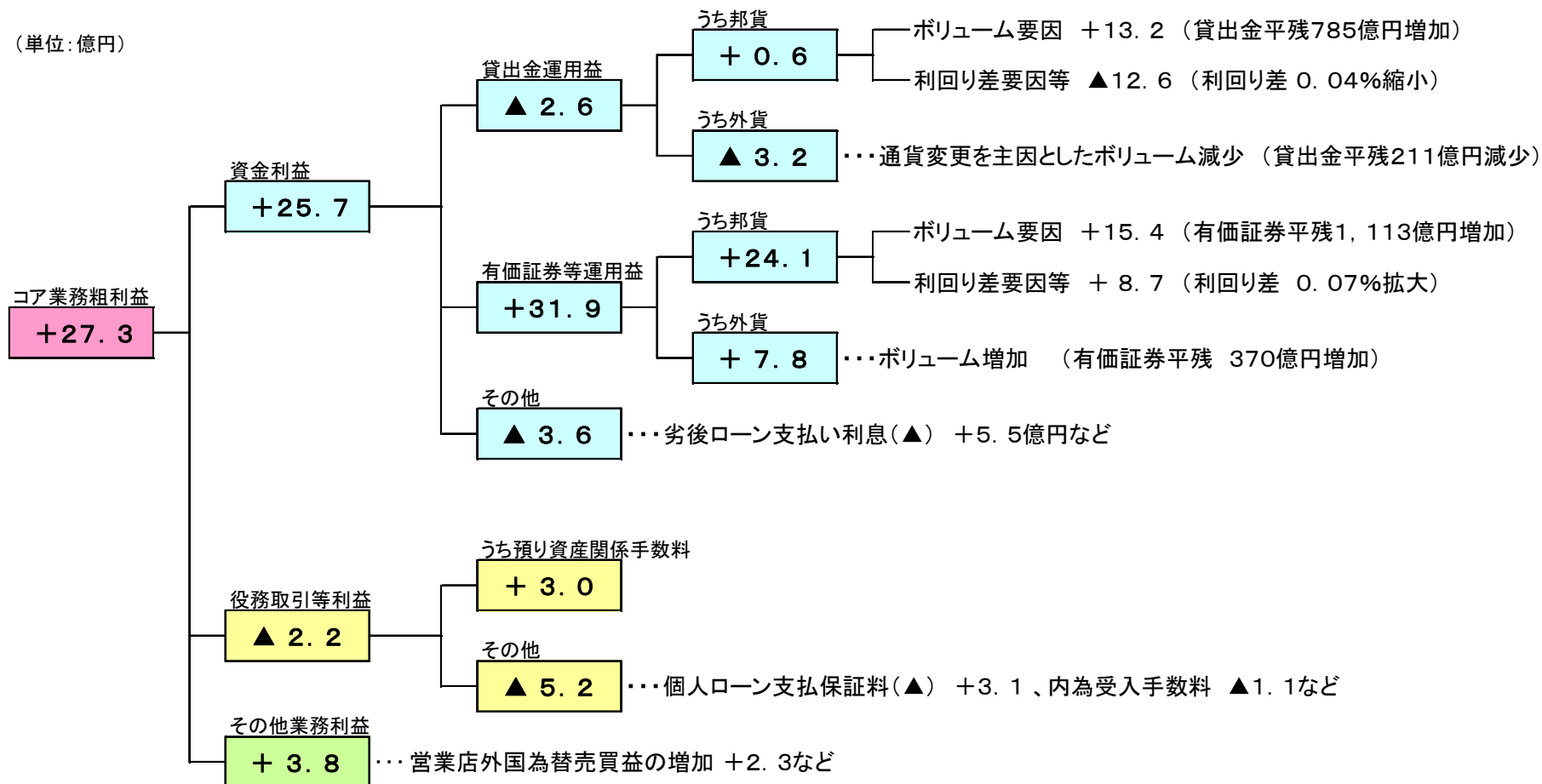
コア業務粗利益の増減要因(22年度)

- 資金利益は、貸出金・有価証券のボリューム増加により、+25.7億円の増益
- 役務利益・その他では、預り資産手数料・外為売買益が増加

21年度比

(注) 利回り差は預金等利回りとの差を使用

(単位: 億円)



預貸金・預り資産の状況

- 「預金等＋預り資産」は順調に増加
- 経済環境が厳しいなか、「貸出金」も引き続き増加

<預金等・預り資産残高推移>

(単位: 億円)

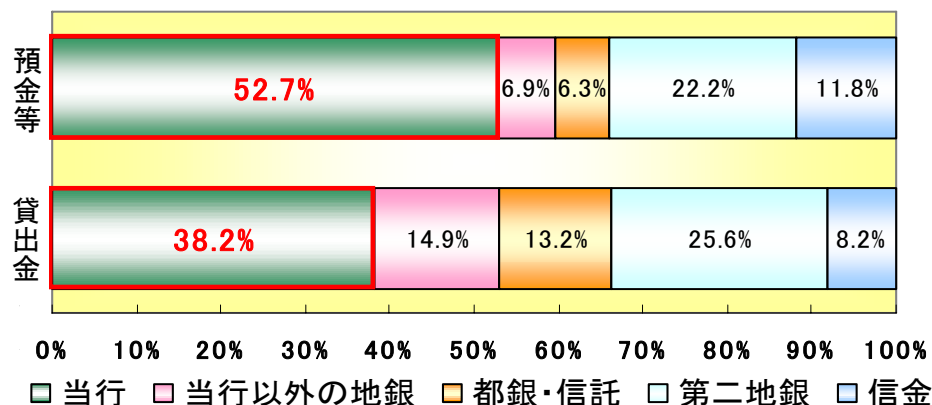
	22/3	23/3	22/3比	増減率
預金等	46,088	47,109	+1,021	+2.2%
うち個人預金	30,243	30,768	+525	+1.7%
預り資産	4,070	4,110	+40	+1.0%
投資信託	1,461	1,378	△83	△ 5.7%
保 険	696	948	+252	+36.2%
国 債	1,825	1,664	△161	△ 8.8%
金融商品仲介	88	120	+32	+36.4%
預金等＋預り資産	50,158	51,219	+1,061	+2.1%
預り資産販売額	465	625	+160	+34.4%
預り資産収益	16.5	19.5	+3.0	+18.2%

<貸出金残高推移>

(単位: 億円)

	22/3	23/3	22/3比	増減率
貸出金	34,221	34,878	+657	+1.9%
事業性貸出金	23,926	24,244	+318	+1.3%
うち愛媛県内	12,103	12,068	△35	△ 0.3%
うち県内船舶	3,884	3,925	+41	+1.1%
個人向け貸出金	8,871	8,895	+24	+0.3%
うち住宅ローン	6,374	6,400	+26	+0.4%
公共向け貸出金	1,425	1,739	+314	+22.0%

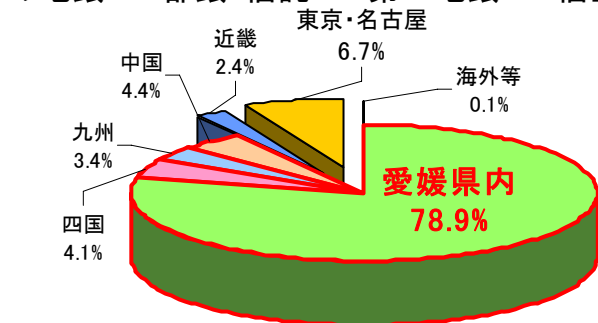
23年3月末愛媛県内シェア（除くゆうちょ・農協等）



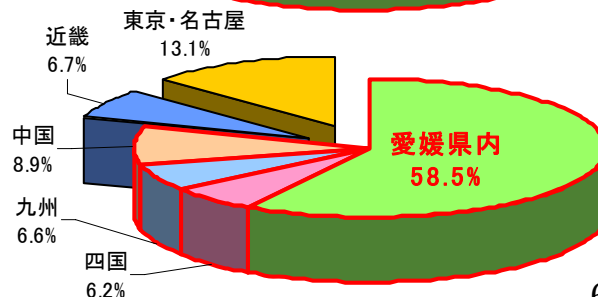
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 当行 ■ 当行以外の地銀 ■ 都銀・信託 ■ 第二地銀 ■ 信金

預金残高 地域別構成比



貸出金残高 地域別構成比



信用コストおよび開示不良債権の状況

- 信用コストは、引当率低下等による一般貸倒引当金戻入を主因として、大幅に減少
- 不良債権比率は2.39%と、引き続き低水準を維持

＜要因別信用コスト推移＞

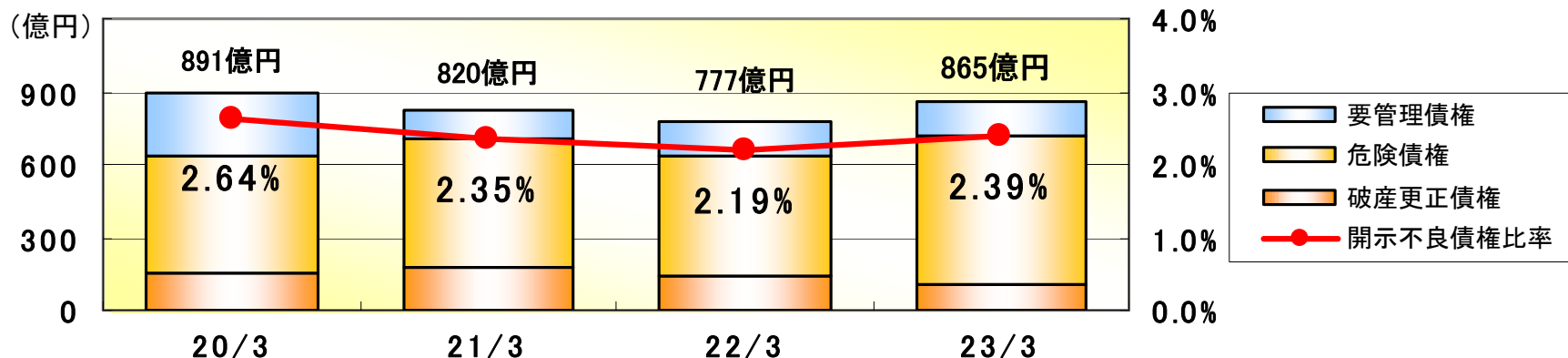
2009年度中計期間

(億円、%)

	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比
信用コスト合計	67	202	137	97	△ 40
倒産	40	134	42	54	+12
ランクダウン等	76	82	100	70	△ 30
ランクアップ・回収	△ 56	△ 27	△ 26	△ 14	+12
償却・売却等	3	4	6	12	+6
一般貸倒引当金繰入額	4	9	14	△ 24	△ 38
与信費用比率	0.21	0.61	0.40	0.28	△ 0.12p

(※端数処理のため、合計が一致しないことがある)

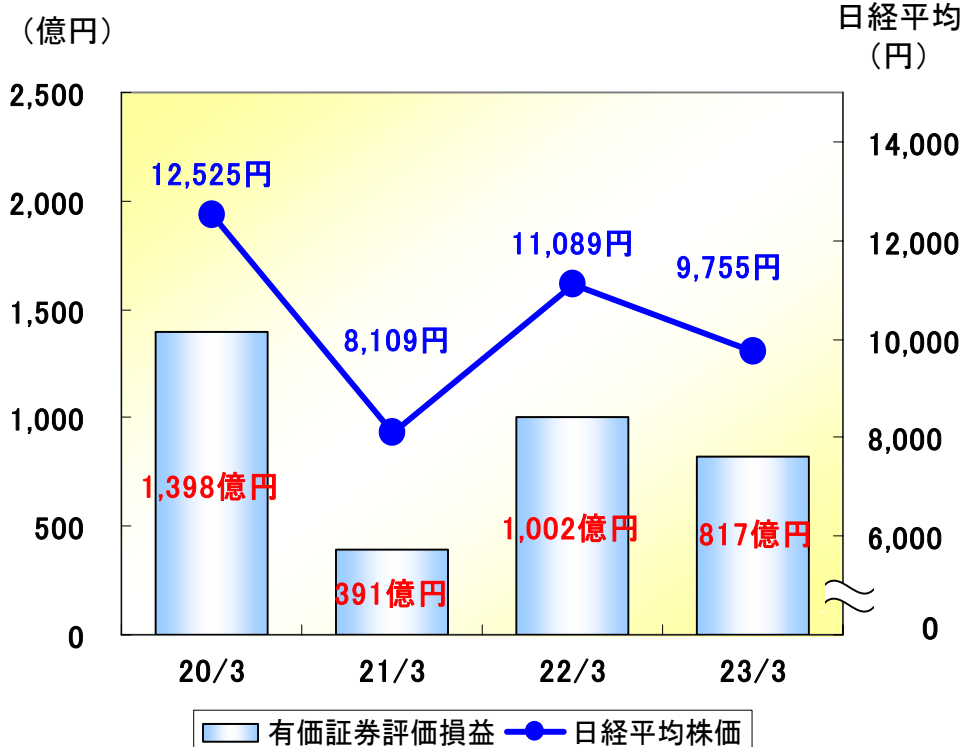
＜金融再生法開示不良債権額・比率推移＞



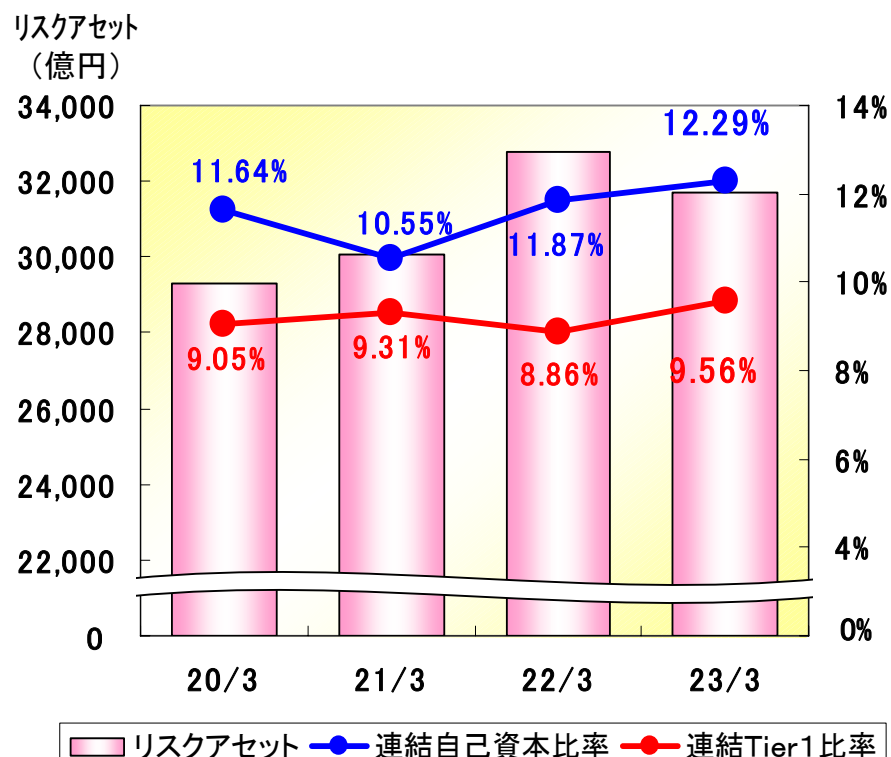
有価証券評価損益および自己資本比率の状況

- 有価証券評価益は817億円と、引き続き地銀トップクラスの水準
- 連結自己資本比率（国際統一基準）は12.29%、連結Tier1比率は9.56%

有価証券評価益(単体)の推移



連結自己資本比率の推移
(基礎的内部格付手法)



(22/3期に 劣後ローン370億円を導入)